

6 公立図書館における読書活動の推進

公立図書館は、児童サービスや青少年サービスの充実を図り、ボランティア等と連携・協力しながら、子供と本を結び付ける場所としての役割を果たすことが大切です。

目標

【目標①】公立図書館における子供一人当たりの児童図書貸出冊数

☑10冊以上にします。

【目標②】公立図書館における青少年サービスの実施

☑100%にします。

【目標③】県立図書館における児童サービス，青少年サービスの実施

☑継続して実施します。

現状

▼公立図書館における子供一人当たりの児童図書貸出冊数

年度	平成 19 年度	平成 24 年度
冊数	6.8 冊	8.9 冊

(「広島県公共図書館要覧」「子供の読書活動推進に関する取組調査」より)

▼公立図書館における青少年サービス実施の割合

年度	平成 19 年度	平成 24 年度
割合	59.6%	61.8%

(「子供の読書活動推進に関する取組調査」より)

▼県立図書館における児童サービス，青少年サービス

毎年実施

～ 目標を達成するための具体的な取組 ～

▶ 公立図書館における児童サービスや青少年サービスの充実を推進します！

- 図書館は、子供が読みたい本を自由に選択し、読書の楽しみを知ることができる場所です。公立図書館では、利用者に対して読書や調べ物の相談に応じたり、図書等の貸出しを行ったりします。また、子供や保護者を対象とした読み聞かせや講座、展示会等を実施するほか、子供の読書活動を推進するボランティア等への支援やそれらの活動を行うための研修等も行います。

また、図書館のホームページに児童図書の紹介をしたり、図書館で行っている行事等の掲載を通じて、広く一般に情報提供を行います。

学校段階が進むにつれて読書離れが進む傾向にあるため、特に、中・高校生の世代に対して、読書活動を促す取組を一層進めます。

- ・ 公立図書館が実施する児童サービスや青少年サービスへの支援を行います。

- 県立図書館では、学校図書館及び市町立図書館の参考となるような児童サービス及び青少年サービスを実施し、その内容をホームページ等で積極的に情報提供をします。



「資料展示の様子」（県立図書館）



「来（ら）いぶらりネット@ひろしま『青少年のページ』」

県立図書館では、「子供の読書活動推進コーナー」で、司書が、子供の本に関する質問や推薦図書等の相談に応じています。

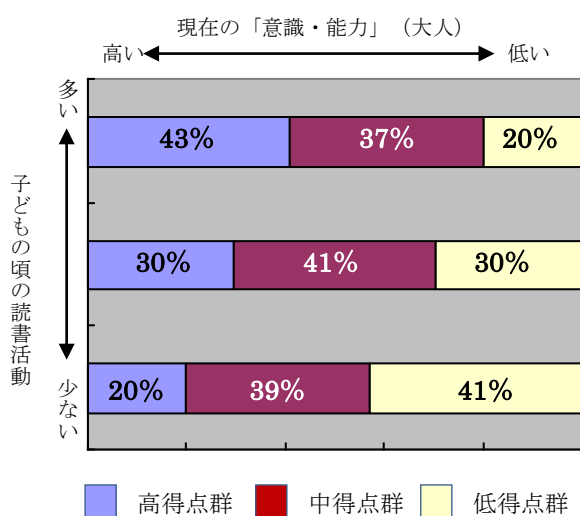
また、読み聞かせ等を行う「けんりつ・おはなし会」や、小学生向けに新しい本を紹介する「ブックトーク 夏休みに読んでみたい本」等を実施しています。

県立図書館のホームページ「来（ら）いぶらりネット@ひろしま」には、「子どものページ」「青少年のページ」のほか、「学校・読書ボランティアのページ」を設けて、様々な情報を提供しています。例えば、「子どものページ」の「調べもの（しらべもの）リンク集」には、「広島に関するサイト」や理科・社会科・総合的な学習の時間等で役立つサイト等、約250の安全で有効なサイトを紹介しています。

これらの内容は、市町立図書館や学校図書館の業務に携わる職員だけでなく、教員やボランティアをはじめとして、子供の読書活動の推進に関わっておられる皆さんにも参考としていただけるものとなっています。

コラム

～子供の頃の読書活動が多い大人ほど 未来志向や社会性などの「意識・能力」が高いことが分かりました～



《「意識・能力」に関する質問項目例》

未来志向	職業意識	できれば、社会や人のためになる仕事をしたいと思うなど
	将来展望	私には将来の目標がある など
	自己啓発	自分の能力を発揮するために学習や能力開発に取り組みたい など
自己肯定	自尊感情	自分のことが好きである など
	充実感	自分の好きなことがやれていると思える など
市民性	共生感	友だちがとても幸せな体験をしたことを知ったら、私までうれしくなる など
	規範意識	電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人に席をゆずろうと思う など
	人間関係能力	友だちに相談されることがよくある など
意欲・関心	なんでも最後までやり遂げたい など	
文化的作法・教養	日本の昔話を話すことができる など	

参考：子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究 報告書（平成25年2月23日）普及啓発リーフレットより抜粋
※詳細は、「子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究 報告書」を参照
（独立行政法人 国立青少年教育振興機構）